

# 憲法を活かし、いのちと暮らしを守ろう

## 仲間の要求と団結を大切にする活動を推進し 1000名支部を目指そう

建交労関西支部第57回定期大会 / 10月23日~24日 建交労会館



(11月号)

2021年11月20日  
発行所  
全日本建設交連一般  
労働組合  
関西支部

〒532-0011  
大阪市淀川区西中島7-12-9  
建交労会館3F  
TEL 06-6886-3915(代)  
FAX 06-6886-3917  
発行責任者  
藤川 拓



建交労関西支部は10月23日、24日、大阪市淀川区の建交労会館で第57回定期大会を開き、代議員と役員59人が参加しました。さまざまな活動を制限せざるを得ない状況下でも感染対策を講じながら運動を進めてきた経験をふまえ、代議員からも積極的な発言が相次ぎ、すべての組織と組合員が果たすべき課題と役割を明確にした2022年度運動方針を確立しました。



1日目は、北村副委員長より開会あいさつ、議長団資格審査・議事運営・選挙管理委員・大会書記・大会事務局の選出・任命などを行った後、議事に入りまし  
本多委員長のあいさつに続いて、建交労中央本部から駆けつけていただいた森谷中央副委員長のあいさつを受け、藤川書記長が21年度経過報告、22年度運動方針案を提案しました。支部の組織的な停滞から躍進に向けた課題として、職場組織の機能強化が欠かせないことが強調されました。  
提案を受けて、執行部からの特別発言6人をはじめ代議員13人が発言し、討論が行われました。  
2日目は、最初に菅崎大会書記長から祝電・メッセージが紹介され、その後、



藤川書記長より総括答弁が行われ、討議の中で出された質問にも回答しました。続いて、21年度会計報告と会計監査報告、22年度予算案の提案を受けました。  
運動方針とともに「22年度の重点要求・課題でのスト権確立」と大会宣言、特別決議「全組合員の総力をあげて仲間のくらしと健康を守る たたかいをひろげ早期の1000名支部建設をめざそう」、予算・決算などが全会一致で採決されました。  
なお、例年恒例の機関紙表彰は、今年も該当なしとなりました。  
その後、山内副委員長の閉会あいさつがされ、本多委員長の音頭でガンバロウ三唱して大会を終えました。





# 分野別特別発言(要旨)

本大会では、運動方針案をより理解を深める為に、①「組織推進プロジェクトチームのとりくみについて」(村井特別執行委員)、②「生コン関連のとりくみに関連して労供のとりくみについて」(山下執行委員)、③「トラック関連の業種別運動について」(北村副委員長)、④「労供事業部のとりくみについて」(杉本執行委員)、⑤「労災職業病関連のとりくみについて」(森田副委員長)、⑥「生コン関連の集团的労使関係について」(岡元顧問)との分野別の特別発言が執行部6人からされました。

## 関西支部顧問

### 岡元 貞道

本年10月10日、連帯労組関西地区生コン支部第57回定期大会が開催され、生コン支部や業界において君臨してきた委員長武建一が失脚ということが決定されたことに、驚きを禁じ得ない。この度の武建一失脚は、無責任極まりない決定だ。これだけ業界団体、中小業者及び労組間共闘に対して混乱を持ち込んできた張本人が失脚し、何らの反省もなのまま幕を引く、こんな幕引きは許されない憤りを感じている。

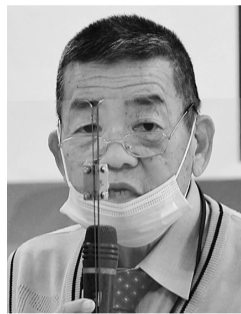
新たな体制が報じられているが、連帯との現在係争中の問題もあり、何らの反省がない連帯労組関西生コン支部とは一線を画する、関わらないことを改めて宣言する。

1988年以降、武ら連帯労組を反面教師として今日まで、支部財産や彼らの不当な暴力・利権集団のたたかい、また組織間の争い、要求闘争をめぐる数々の闘い、また一致する要求に基づき共同共闘を武連帯

労組とは繰り返ししてきた。これらのたたかひの中心となっていたことは、生コン業界をめぐる業界構造のあり方でした。不安定な需要構造、過剰設備、セメント需要の70%が生コン向けであること、基礎資材産業であること、生コン産業の特性、社会的立場づけから、国をはじめ生コン業界は、業界の近代化、安定化をはかることをめざし、業界構造の改革をめぐる業界団体との集团的労使関係が確立され、工業組合との集团的労使関係の中で中・武Tラインという資本との癒着なかで利権構造がつくられてきた。1994年大阪広域生コン協同組合発足協同組合の労務団体との集团的労使関係、大阪広域協をばじめ経営者会との労使関係、さらに、2008年以降の西日本建設関連オーナー会との労使関係へと、経営者団体と労働団体との集团的労使関係が変化を遂げてきた歴史でもあった。

その中心に、連帯労組関西生コン支部武建一が存在し、業界構造の改革や要求闘争をめぐる1998年・2005年に二度の労

村井特別執行委員



山下執行委員



北村副委員長



杉本執行委員



森田副委員長



岡元顧問



組間共闘が確立され運動を推進してきた。しかし2017年12月12日の武連帯労組の「スト」をめぐる、大阪広域協との労使関係が崩壊し、労組間共闘のルール、経営者団体との労使協定を無視したことから武連帯労組との決別を図って、今日まで運動をすすめてきた。

新たな西日本建設関連オーナー会との集团的労使関係のもとで引き続いて生コン業界の発展と共に支部組織の生き残りをかけた、新たな組織建設をすすめることが強く求められている。

正規労働者が割に満たない、非正規労働者が8割を占める労使関係のもとでセメント生コン業界で働く労働者の生活と雇用、権利を守っていくことは私たちの使命だ。

幸いなことに、近畿生コン関連協議会(KURS)・関西労供労組協議会(KLWS)の労組間共闘を軸にして、集团的労使関係を発展させている。

こうした労組間共闘の発展をはかるには、労働運動

の3原則を堅持し、一致する要求にもとづく大同団結の対応の問題が、今すぐどこ問われる時代背景にあるとき、労働組合運動の基本的な原則と生活と権利を守るという原点を踏み外すと必ず問題が生じる。原則的対応と現実的対応は矛盾するものではないことは武らとの関生闘争の教訓だ。

いま、関西の生コン業界は、労働者も非正規中心、車輦も備車中心のアウトソーシングの時代に入っている。非正規労働者の日額賃金や諸条件の整備、備車運賃の適正化が今後の中心課題になっていくものと思われ。

非正規労働者の組織化は、労供事業の拡大強化によってしか図れない。この間、プロジェクトチームによる企業訪問活動で労供契約を未組織事業所と取り交わしてきた。さらに、こうした活動を継続し、未組織事業所との労供契約を旺盛にすすめることだ。そのためプロドライバーの第一要件に重要な職能問題がある。必

要なクオリティーを有する労供事業でなければ発展しない。

また、新たに労供・輸

## 代議員発言(要旨) 3~4面

### 義 博也代議員

(関西総合輸送合同分会)



関西総合輸送分会は現在14人となり、正社員化をはかってきた。会社発足から10年が経過し、これまでさまざまなことを乗り越えてきた。関西支部ならびに労供事業部の仲間感謝したい。今後ともよろしくお願ひします。

### 中村 章代議員

(井住分会神戸班)

井住分会は地域労連に結束し取り組みを強化してきた。月数回の宣伝などの統一行動に取り組んでいる。

分会の近況について報告する。現在分会は12人、3

### 田中 雅彦代議員

(大和運送分会)



反核平和、原発、政治闘争などの問題についてすべて実践的な行動が求められる。建交労は実践部隊だと思おう。地域労連に結集し、横のつながりを活かした運動を強化するべき

阪神競馬場で働く仲間を

### 河原 秀代議員

(阪神競馬場分会)



正規雇用から非正規になって、あらためてこの分野での建交労というバックボーンの大きさがわかった。時代が変わろうとしていると感じている。生コンでの正規雇用を実現することで若手育成の一步になるのではないかと、ともに頑張る実現しましょう。

阪急バスに対する「未払い賃金請求事件」は会社の違法性が認められ判決は確定している。しかし確定から改善されるまでの期間の未払いが発生しているため、交渉を行い追及していく。アンケートの取り組みは毎年1000筆を目標に取り組んできた。社内労組にも協力者が多い。現在は8人



### 来田 全史代議員

(阪急統合分会)

組織している。年一回、農林水産省およびJRA本社交渉に取り組んでいる。暖かくなってくる来年の春には是非お弁当をもって競馬場に遊びに来てほしい。

### 松谷 博代議員

(朝日分会)



コロナ禍が続く中、活動ができない状況が続いたが、ようやくPT活動に参加できた。

奈良県での生コンオルグ活動はこれから具体化していくことになるが、やりがいを感じている。PTだけの取り組みにすることなく朝日分会も組織拡大に一翼を担えるよう頑張っていきたい。

の分会だが会社は建交労と一番先に交渉するようになったことは大きな成果だ。コロナ禍で対話が困難の中、今年のアンケート集約数は450筆に落ち込んだが「継続は力」組織拡大に結びつけるため引き続き奮闘する。

鈴木 信行代議員

(明雪運輸分会)



明雪運輸では事故をすればペナルティと称して賃金・一時金から減額や配車による賃金の差異、定年後再雇用の大幅な賃金の減額など問題が山積していたが、関西支部加盟後、少しずつ改善がすすんでいる。21年春闘交渉はコロナの影響で売り上げが大幅に減少している中、「コロナ手当の支給」「一時金昨年実績」の回答を引き出した。交渉を

積み重ね、労使の信頼関係を構築していくことが大事だった。今後も地道に交渉を重ね、労働条件改善に向けて努力していきたい。

松田 克昭代議員

(中央地域合同分会)



慢性的な人手不足は全国的な問題となっている。関西では2020年12月24日、オーナー会との産業別モデル賃金および退職金支給表について合意書の調印ができた。

に矛盾を感じる。解散総選挙が10月19日告示で闘われている。組合員ひとりひとりが自分達の働き方、暮らし、医療をよくするための選挙ととらえることが重要。政治闘争では地元地域でビラ配布2400枚配布し、職場では朝日の仲間とともに1600枚配布を行った。植田生コンの組合員が名が退職した。どういった経緯でこのようなことになったのか、総括する必要がある。

浜田 浩一代議員

(欽山合同分会)



オーナー会と協議を行い、状況の把握・点検、正規雇用の促進をすすめるようはたらきかける事を求める。輸送ネットワーク確立についての趣旨は「企業安定、雇用確保」は理解するが、モデル賃金の議論と促進活動が進んでいない中でネットワークを進めること

昨年、私が定年になると同時に会社は一方的な賃下げを行ってきた。様々な取り組みを行い、組合員の賃金のみ一定戻ったが、未組職労働者は完全に賃下げとなっている。観山グループの会社は急

ピッチで設備投資をおこなっている。また内勤労働者も入職してきているので労働条件の引き上げと組織化に向けて奮闘する。

谷本 良一代議員

(近畿オイルサービス分会)



定年後の再雇用労働条件が労働契約法20条違反だと提訴し、2021年5月10日に和解しました。この裁判闘争に関西支部あげての絶大な支援とご尽力いただいた弁護団に深く感謝申し上げます。3月に油槽所門前でのビラ配布は想像以上に効果があり、結果的に和解交渉がスムーズに進めることができたと思える。70歳までの雇用継続について引き続き交渉で追及していく。

川本 拳斗代議員

(朝日分会)



私が組合に加盟して1年が経ちました。就労の際に諸先輩方に指導していただき、現在は、誘導職、生コン輸送・一般貨物・ミキサ車のほか、いろいろな仕事で活躍しています。この1年は仕事で一杯でしたが、この仕事ができるのも「建交労」という労働組合だからこそ未経験の私でも続けてこれたと思う。私も建交労の組合員の一人として、就労拡大や若い未経験者でも安心して働ける環境作りにも貢献したい。

中村 武士代議員

(関西総合輸送合同分会)

国内外でコロナ感染症が蔓延しており、関西支部に

においても、組織拡大の取り組みなどコロナ禍でも行えるよう工夫しながら、活動されているが、PTのみの取り組みになっているのが現状。コロナ対策を優先しなければならぬ考えも尊重されるべきかと思うが、この間様々な会議に出席してきて、ひとりひとりが支部建設をすすめるという立場にたつて会議に出席しているように感じられない。コロナ禍でもひとりひとりができる行動はあるはずだ。運転手不足の課題について私の周りにも生コンの運転手になりたいという声があるが、大型免許取得までにかかる経済的な問題がある。大型免許補助制度があれば組織拡大の武器になると思う。大型免許補助制度の確立をの春闘で求めていきたい。

藤川 拓書記長

支部役員の特別発言及び代議員から全体で19人の発言を受けて、「昨年同様に大会参加者を絞っての開催となりましたが、すべての発言者が前向きで今後の取り組みの強化、職場の闘い、政治闘争、業種別の課題など他業種広域支部の関西支部ならではのそれぞれの立場から幅広い内容の発言が寄せられました。



最後に、朝日分会1092年生まれの29歳の川本さんの元気な発言「建交労に入ってくれた」に心えたいと思います」とまとめました。

以下、それぞれの担当役員から特別発言をしていただきました。よりリアルに業種別運動の到達点や今後の課題が鮮明に伝わりました。

総括答弁 (要旨)

大会宣言

建交労関西支部第57回定期大会は、新型コロナウイルスの感染拡大から1年半余が経過しても収束の見通しさえ立たず、緊急事態宣言やまん延防止措置が繰り返されるもとで開かれた。いまも変異ウイルスが猛威をふるい、各地で医療崩壊の危機がはじまり、救える命が救えないのは、自公政権による失政がもたらした人災にほかならない。9条改憲にもとづく戦争推進の国づくりの野望に終止符を打ち、自己責任より社会連帯、支えあいが重視される、新しい政治・社会への転換をめざして奮闘する。

関西支部の仲間が新型コロナウイルス感染拡大がひろがるなか、命・健康・雇用を守るため、「労働者の安全確保・感染防止対策をすべての労働者に適用せよ」と各社において統一対応を求め、休業補償など成果をうみだしている。トラック関連では、「改正貨物運送事業法」にもとづく「標準的な運賃の告示制度」などを活かし、トラック労働者処遇改善をめざすたかひを粘り強く展開している。生コン関連では、労組間共闘をさらに前進させ、運転手不足解消に向け、非正規から正規へ具体化する産業別モデル賃金を確立し、21春闘において圧倒的多数の未組職・未加盟労働者、非正規労働者に焦点をあてた処遇改善をすすめている。労災職業病関連では、粘り強く綿密な労働相談や認定をかわととりくみを通じて、組合員を拡大している。このような奮闘と結した組織拡大は、他業種広域支部の特性を遺憾なく発揮し、業種別の宣伝物をいかにして関西支部を押し出す運動を展開し、一年間で50人を超える仲間を関西支部に迎えた。

第57回定期大会は、ポストコロナの社会が大企業や富裕層の利益を優先する経済社会へ突き進むのか、それとも労働者・国民が人間らしく暮らせる社会へと舵を切り、歩みはじめるのか、そのせめぎあいが激しさを増すなかで、「失業と貧乏と戦争に反対する」建交労の旗を高く掲げ、共同をひろげる運動をさらに発展させ、要求実現と組織拡大強化をつくりだすことを確認した。

我々は、決定した向こう一年の運動方針に団結し、憲法がいきる政治・社会の実現と組織建設の飛躍に向けて、全組合員一丸となって奮闘するものである。以上、宣言する。

2021年10月24日 全日本建設交通一般労働組合関西支部第57回定期大会

特別決議

全組合員の総力をあげて 仲間のくらしと権利、いのちと健康を守るたかひをひろげ 早期の1000名支部建設をめざそう

建交労関西支部は、働く仲間のくらしと権利、いのちと健康を守るたかひを職場と地域にひろげてきた。新型コロナウイルス感染が拡大する中、関西支部の仲間たちは、感染予防対策を統一要求とし、働くルールと生きる権利を求めて特別休暇などを実施してきた。権利侵害反対闘争では、「定年前と比べて40%もの賃金が引き下げられた」近畿オイルサービスでは、労働契約法第20条を争点に裁判闘争を展開し「同一労働・同一賃金」の原則を求めて闘い、実利を勝ち取り、大阪地裁にて和解解決した。われわれは、くらしと権利を守るため、労働者にかげられた権利侵害を許さない闘いを展開する。

関西支部は早期の「1000名支部建設」を引き続き追求する。強大な支部建設を見据え、その実現をめざすには、次世代の幹部の育成、書記局、各ブロック・部会の体制強化、支部執行委員会のスキルアップなど多くの課題を乗り越えるため日々奮闘することが求められる。

そのために、PT活動を中心に各ブロック・職場(分会)の機能強化をはかりながら、対象業種・対象職場・対象者を明確にして、全組合員運動としての推進体制を確立し、秋・春・夏の「組織拡大月間」を成功させる。「要求アンケート」は対象者との対話の武器としても活用し、4000筆の集約目標の達成をめざす。また、組合員と組織の力量アップをはかるために学習・教育活動を強化し、系統的で継続的な学習運動を推進する。ブロック・分会・班の組織機能確立は、運動をすすめる基礎となるものである。そのために、「4つの指標」に基づき職場点検と組織の改革に乗り出すことが肝要である。

いま、自公政権がもたらした人災によってコロナ禍はかつてなく深刻な状況となっている。非正規雇用を中心に無数の労働者が使い捨ての様に路頭に放り出されている。そうした中、コロナ禍に苦しむ人々に心を寄せ、現状にあきらめず打開するために団結を呼びかけ、仲間のくらしと権利、いのちと健康を守るたかひに全力をあげてたたかう。

以上、決議する。 2021年10月24日 全日本建設交通一般労働組合関西支部第57回定期大会

メッセージ・祝電 (敬称略・順不同)

以下のみなさんから心温まるメッセージ・祝電をいただきました。ありがとうございました。

建交労中央本部・県本部～中央本部／福島県本部／茨城県本部／東京都本部／静岡県本部／愛知県本部／京都府本部／大阪府本部／兵庫県本部／島根県本部／福岡県本部／熊本県本部／宮崎県本部／鹿児島県本部

建交労支部～西宮支部／近物レックス支部／テース支部／関西合同支部

全労連関連～尼崎地区労働組合総連合／大阪労連北河内地区協議会

法律事務所～北大阪総合法律事務所／きづがわ共同法律事務所／滋賀第一法律事務所／京都南法律事務所／京都第一法律事務所

政党～参議院議員・川合 孝典／参議院議員・田村 まみ

友好労組～全日本港湾労働組合関西地方阪神支部／全日本運輸産業労働組合大阪府連合会／連合交通労連関西地方総支部生コン産業労働組合／国鉄労働組合近畿地方本部／UAゼンセン／UAゼンセン大阪府支部／日本自動車運転士労働組合大阪支部／日本自動車運転士労働組合京都支部／阪神自動車運転士労働組合／新運輸・関西職別労供労働組合

友好団体～全日本年金者組合大阪府本部／アスベスト被害からのちと健康を守る尼崎の会／日本機関紙協会大阪府本部／NPO法人・建設政策研究所関西支所

お祝い電報～近畿労働金庫梅田支店／大阪アスベスト弁護団／一般社団法人・大阪府トラック協会／関西レディースミクス労働組合／関西広域輸送協同組合